

令和5年度鳥取市病院事業会計予算書

鳥 取 市 立 病 院

令和5年度鳥取市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 令和5年度鳥取市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病	床	数	
	一 般 病 床		340 床
(2) 年 間	患 者	数	
	入 院		95,160 人
	外 来		102,060 人
(3) 一 日 平 均	患 者	数	
	入 院		260 人
	外 来		420 人
(4) 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
	器 械 備 品 購 入		649,349 千円
	建 設 改 良 等		99,440 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入	
第1款	病 院 事 業 収 益		8,276,633 千円
第1項	医 業 収 益		7,475,663 千円
第2項	医 業 外 収 益		733,934 千円
第3項	附 帯 事 業 収 益		42,721 千円
第4項	特 別 利 益		24,315 千円
	支	出	
第1款	病 院 事 業 費 用		8,748,370 千円
第1項	医 業 費 用		8,559,806 千円
第2項	医 業 外 費 用		143,843 千円
第3項	附 帯 事 業 費 用		42,721 千円
第4項	特 別 損 失		500 千円
第5項	予 備 費		1,500 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額419,488千円は、過年度分損益勘定留保資金419,488千円で補填するものとする。）。

収		入
第1款	資本的収入	1,397,537 千円
第1項	他会計繰入金	650,237 千円
第2項	企業債	738,700 千円
第3項	補助金	5,000 千円
第4項	その他収入	3,600 千円

支		出
第1款	資本的支出	1,817,025 千円
第1項	企業債償還金	1,030,543 千円
第2項	建設改良費	758,218 千円
第3項	医師奨学金	24,564 千円
第4項	補助金等返還金	3,700 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事項	期間	限度額
医師奨学金	令和6年度～令和10年度	24,000 千円
月刊誌一括購入	令和6年度	6,000 千円
昇降機改修工事	令和6年度	154,440 千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
医療機器購入及び建物改良	738,700 千円	普通貸借 又は 証券発行	10.0%以内	政府その他の資金の借入れについては、その融通条件による。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、若しくは繰上償還し、又は低利に借り換えることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、2,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 第1款病院事業費用のうち、第1項医業費用、第2項医業外費用及び第3項附帯事業費用間の流用。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- | | |
|---------------|--------------|
| (1) 職 員 給 与 費 | 4,642,530 千円 |
| (2) 交 際 費 | 430 千円 |

(他会計からの補助金)

第10条 経営基盤強化対策に要する経費等に充てるため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、377,889千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産購入限度額は、1,788,251千円と定める。

(重要な資産の取得及び処分)

第12条 重要な資産の取得は、次のとおりとする。

取得する資産

種 類	名 称	数 量
建物	昇降機改修	1 式
器械備品	MR I 装置	1 式
器械備品	X線アンギオグラフィシステム	1 式
器械備品	生体情報モニタリングシステム	1 式
器械備品	手術用顕微鏡システム	1 式
器械備品	手術用内視鏡システム (外科用)	1 式

令和5年2月20日提出

鳥取市長 深澤義彦

令和5年度鳥取市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病院事業収益			8,276,633	
	1 医 業 収 益		7,475,663	
		1 入 院 収 益	5,091,263	入院診療費
		2 外 来 収 益	1,752,032	外来診療費
		3 その他医業収益	632,368	公衆衛生活動収益、 医療相談収益等
	2 医 業 外 収 益		733,934	
		1 受取利息及び配当金	1	
		2 他 会 計 繰 入 金	501,115	
		3 補 助 金	8,423	
		4 保 険 金	1,000	
		5 患者外給食収益	10	
		6 長期前受金戻入	175,185	
		7 その他医業外収益	48,200	
	3 附 帯 事 業 収 益		42,721	
		1 病後児保育収益	15,794	
		2 院内託児所収益	26,927	
	4 特 別 利 益		24,315	
		1 その他特別利益	24,315	長期前受金戻入等過年度分

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病院事業費用			8,748,370	
	1 医 業 費 用		8,559,806	
		1 給 与 費	4,639,750	職員給与
		2 材 料 費	1,841,375	薬品費、診療材料費等
		3 経 費	1,407,307	光熱水費、燃料費、 賃借料、委託費等
		4 減 価 償 却 費	528,024	
		5 資 産 減 耗 費	10,600	
		6 研 究 研 修 費	132,750	医師等研修に要する経費
	2 医 業 外 費 用		143,843	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	41,359	企業債利息、 リース料支払利息等
		2 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	25,000	
		3 患者外給食材料費	572	
		4 医 師 確 保 経 費	7,820	医師奨学金免除
		5 雑 損 失	69,092	控除対象外消費税等
	3 附 帯 事 業 費 用		42,721	
		1 病後児保育費用	15,794	
		2 院内託児所費用	26,927	
	4 特 別 損 失		500	
		1 特 別 損 失	500	
	5 予 備 費		1,500	
		1 予 備 費	1,500	

資 本 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			1,397,537	
	1 他 会 計 繰 入 金		650,237	
		1 他 会 計 繰 入 金	650,237	
	2 企 業 債		738,700	
		1 企 業 債	738,700	
	3 補 助 金		5,000	
		1 国 県 補 助 金	5,000	
	4 そ の 他 収 入		3,600	
1 そ の 他 収 入		3,600		

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			1,817,025	
	1 企 業 債 償 還 金		1,030,543	
		1 企 業 債 償 還 金	1,030,543	
	2 建 設 改 良 費		758,218	
		1 営 業 設 備 費	649,349	器械備品購入費
		2 建 物 新 築 及 び 改 良 費	99,440	
		3 リ ー ス 資 産 購 入 費	9,429	
	3 医 師 奨 学 金		24,564	
		1 医 師 奨 学 金	24,564	
	4 補 助 金 等 返 還 金		3,700	
1 補 助 金 等 返 還 金		3,700		

令和5年度鳥取市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位 千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益(△は純損失)	△ 471,737
	減価償却費	529,315
	固定資産除却費等	9,000
	引当金の増減額(△は減少)	160,573
	長期前受金戻入額	△ 200,464
	支払利息及び企業債取扱諸費	41,359
	未収金の増減額(△は増加)	△ 177,046
	未払金の増減額(△は減少)	11,741
	その他	10,236
	小計	△ 87,023
	利息の支払額	△ 41,359
	業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 128,382
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 680,717
	国庫補助金等による収入	5,000
	国庫補助金等の返還による支出	△ 3,700
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	24,564
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金返還による支出	△ 3,600
	鳥取市立病院医師奨学金貸与による支出	△ 24,564
	鳥取市立病院医師奨学金返済による収入	3,600
	短期貸付金による支出	△ 400,000
	短期貸付金の回収による収入	400,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 679,417
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	738,700
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,030,543
	他会計等からの出資等による収入	632,873
	リース債務の返済による支出	△ 9,225
	財務活動によるキャッシュ・フロー	331,805
	資金増加額(又は減少額)	△ 475,994
	資金期首残高	2,207,556
	資金期末残高	1,731,562

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(単位 千円)

区 分	職員数(人)		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	1	(138) 449	0	2,063,806	1,887,665	3,951,471	691,059	4,642,530
前 年 度	1	(136) 465	0	2,108,854	1,863,068	3,971,922	682,608	4,654,530
比 較	0	(2) △ 16	0	△ 45,048	24,597	△ 20,451	8,451	△ 12,000

手当の内訳	区 分	扶 養	通 勤	住 居	管理職	期 末	勤 勉	宿日直	夜間看護 夜間勤務	初任給 調 整
	本 年 度	50,466	25,236	33,475	58,558	455,427	326,381	110,079	79,896	137,770
	前 年 度	53,794	25,328	30,976	60,099	443,881	326,939	102,822	80,230	151,954
	比 較	△ 3,328	△ 92	2,499	△ 1,541	11,546	△ 558	7,257	△ 334	△ 14,184
手当の内訳	区 分	地 域	特殊勤務	時間外勤務	退職給付費					
	本 年 度	52,735	210,200	119,559	227,883					
	前 年 度	56,838	162,184	122,199	245,824					
	比 較	△ 4,103	48,016	△ 2,640	△ 17,941					

備考 職員数の()内は、短時間勤務職員で外数

ア 会計年度任用職員以外の職員

(単位 千円)

区 分	職員数(人)		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	1	(10) 446	0	1,780,311	1,803,084	3,583,395	633,062	4,216,457
前 年 度	1	(12) 459	0	1,835,567	1,791,926	3,627,493	624,428	4,251,921
比 較	0	(△2) △ 13	0	△ 55,256	11,158	△ 44,098	8,634	△ 35,464

手当の内訳	区 分	扶 養	通 勤	住 居	管理職	期 末	勤 勉	宿日直	夜間看護 夜間勤務	初任給 調 整
	本 年 度	50,466	17,628	33,475	58,558	396,207	326,381	110,079	79,896	137,770
	前 年 度	53,794	18,902	30,976	60,099	391,795	326,939	102,822	80,230	151,954
	比 較	△ 3,328	△ 1,274	2,499	△ 1,541	4,412	△ 558	7,257	△ 334	△ 14,184
手当の内訳	区 分	地 域	特殊勤務	時間外勤務	退職給付費					
	本 年 度	50,342	198,535	117,458	226,289					
	前 年 度	54,581	155,365	120,140	244,329					
	比 較	△ 4,239	43,170	△ 2,682	△ 18,040					

備考 職員数の()内は、短時間勤務職員で外数

イ 会計年度任用職員

(単位 千円)

区 分	職員数(人)		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	費 計		
本 年 度	0	(128) 3	0	283,495	84,581	368,076	57,997	426,073
前 年 度	0	(124) 6	0	273,287	71,142	344,429	58,180	402,609
比 較	0	(4) △ 3	0	10,208	13,439	23,647	△ 183	23,464

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養	通 勤	住 居	管理職	期 末	勤 勉	宿日直	夜間看護 夜間勤務	初任給 調 整
	本 年 度	0	7,608	0	0	59,220	0	0	0	0
	前 年 度	0	6,426	0	0	52,086	0	0	0	0
	比 較	0	1,182	0	0	7,134	0	0	0	0
	区 分	地 域	特殊勤務	時間外勤務	退職給付費					
	本 年 度	2,393	11,665	2,101	1,594					
	前 年 度	2,257	6,819	2,059	1,495					
	比 較	136	4,846	42	99					

備考 職員数の()内は、短時間勤務職員で外数

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区分	増減額	増減事由別内訳	説 明	備 考		
給 料	△ 45,048	給与改定に伴う増減分	23,297	4年度給与改定	23,297	
		昇給に伴う増加分	31,734	5年度昇給分 4年度昇給分	14,238 17,496	平均昇給率 1.60%
		その他の増減分	△ 100,079	採用、退職、異動等による増減分	△ 100,079	
手 当	24,597	給与改定に伴う増減分	71,644	4年度給与改定	71,644	
		昇給に伴う増加分	23,693	昇給に伴う増加分	23,693	
		その他の増減分	△ 70,740	採用、退職、異動等による増減分	△ 52,799	
				退職給付費の増減分	△ 17,941	

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		医療職（一）	医療技術職	看護職	一般行政職
5年1月1日 現在	平均給料月額（円）	483,637	294,422	315,726	326,437
	平均給与月額（円）	1,227,384	365,544	422,438	375,821
	平均年齢（歳）	44.8	39.4	42.2	46.8
4年1月1日 現在	平均給料月額（円）	474,722	291,484	307,642	317,571
	平均給与月額（円）	1,168,018	358,694	386,105	371,452
	平均年齢（歳）	43.8	39.2	41.3	46.7

(2) 初任給

区 分	医療職（一） （円）	医療技術職 （円）	看護職 （円）	一般行政職 （円）	国・一般会計の制度			
					医療職（一） （円）	医療職（二） （円）	医療職（三） （円）	一般行政職 （円）
高校卒				154,600				154,600
短大2卒		170,500	197,000	167,100		170,500	197,000	
短大3卒		181,100	204,900			181,100	204,900	
大学卒	309,300	191,500	213,200	185,200	253,600	191,500	213,200	185,200

(3) 級別職員数

区 分	医療職（一）			医療技術職			看護職			一般行政職		
	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
5年1月1日 現在	1	7	13.2	1	0	0.0	1	0	0.0	1	1	2.5
	2	9	17.0	2	31	36.9	2	82	31.8	2	4	10.0
	3	23	43.4	3	(1) 31	(100.0) 36.9	3	(7) 103	(100.0) 39.9	3	(2) 15	(100.0) 37.5
	4	13	24.5	4	14	16.7	4	29	11.2	4	9	22.5
	5	1	1.9	5	5	6.0	5	25	9.7	5	7	17.5
				6	3	3.5	6	15	5.8	6	2	5.0
				7	0	0.0	7	3	1.2	7	1	2.5
				8	0	0.0	8	1	0.4	8	1	2.5
	計	53	100.0	計	(1) 84	(100.0) 100.0	計	(7) 258	(100.0) 100.0	計	(2) 40	(100.0) 100.0
4年1月1日 現在	1	10	17.3	1	0	0.0	1	0	0.0	1	1	2.4
	2	9	15.5	2	32	38.6	2	92	34.0	2	5	12.2
	3	24	41.4	3	(1) 30	(100.0) 36.1	3	(8) 106	(100.0) 39.1	3	(2) 17	(100.0) 41.5
	4	14	24.1	4	13	15.7	4	29	10.7	4	6	14.7
	5	1	1.7	5	4	4.8	5	28	10.3	5	8	19.5
				6	4	4.8	6	13	4.8	6	3	7.3
				7	0	0.0	7	2	0.7	7	0	0.0
				8	0	0.0	8	1	0.4	8	1	2.4
	計	58	100.0	計	(1) 83	(100.0) 100.0	計	(8) 271	(100.0) 100.0	計	(2) 41	(100.0) 100.0

備考 職員数の（ ）内は、短時間勤務職員で外数

(級別の基準となる職務)

区分	1級	2級	3級	4級	5級			
医療職(一)	医員、 初期臨床研修医	医長	局長、 主任部長、 センター長、 部長、 高度の知識経験に基づき困難な医療業務を行う医長	病院長、 副院長、 極めて高度の知識経験に基づき特に困難な医療業務を行う局長及び主任部長	困難な業務を行う病院長			
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
医療技術職	診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床心理士、歯科衛生士	薬剤師、 困難な業務を行う診療放射線技師等	主任	主査、 理学療法士長、 作業療法士長、 言語聴覚士長	副技師長、 薬剤師長	部長、 副部長、 技師長	部長	局長
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
看護職		看護師、 保健師、 助産師	主任	主査	副看護師長	看護師長、 リスキーマネージャー	副看護局長	局長
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
一般行政職	主事、 技師、 診療情報管理士、 調理員、 メディカルソーシャルワーカー	相当高度な知識又は経験を必要とする業務を行う主事等	主任	係長、 主幹、 副調理長	室長、 課長補佐、 室長補佐、 調理長	課長、 参事、 室長	次長	局長

備考 5年1月1日現在

(4) 昇給

区 分		合 計	医療職(一)	医療技術職	看護職	一般行政職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	435	53	84	258	40	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	435	53	84	258	40	
	号級数別内訳	2号給 (人)					
		4号給 (人)	330	41	64	195	30
		6号給 (人)	85	10	16	51	8
		8号給 (人)	20	2	4	12	2
比 率 (B)/(A) (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	453	58	83	271	41	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	453	58	83	271	41	
	号級数別内訳	2号給 (人)					
		4号給 (人)	343	45	63	204	31
		6号給 (人)	89	11	16	54	8
		8号給 (人)	21	2	4	13	2
比 率 (B)/(A) (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

(5) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	医療職 (一)	医療技術職	看護職	一般行政職
給料総額に対する比率 (%)	15.0	40.2	4.0	12.6	0.5
支給対象職員の比率 (5年1月1日現在) (%)	83.5	96.2	65.4	97.6	14.6
代表的な特殊勤務手当の名称	診療手当、夜間看護手当、変則勤務手当				

(6) 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、勤務の級等 による加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.200	2.200	4.40	有	
前 年 度	2.150	2.150	4.30	有	

(7) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最 高 限 度 (月分)	その他の加算 措置等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~4.5%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~4.5%加算)	

(8) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同 じ	
地 域 手 当	同 じ	
住 居 手 当	同 じ	
通 勤 手 当	同 じ	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

(単位 千円)

事 項	限 度 額	前年度末までの支払 義務発生見込額		当 該 年 度 支 払 義 務 発 生 見 込 額	翌 年 度 以 降 の 支 払 義 務 発 生 予 定 額		左 の 財 源 内 訳	
		期 間	金 額		期 間	金 額	他会計繰入金	損益勘定 留保財源
医師奨学金								
令和5年度	24,000				令和6年度～ 令和10年度	24,000	24,000	
令和4年度	24,000			4,800	令和6年度～ 令和9年度	19,200	19,200	
令和3年度	24,000			4,800	令和6年度～ 令和8年度	19,200	19,200	
令和2年度	24,000		9,600	4,800	令和6年度～ 令和7年度	9,600	9,600	
医薬品・診療材料一括購入 及び管理業務委託並びに滅 菌消毒業務委託								
令和4年度	7,030,030			1,857,665	令和6年度～ 令和7年度	5,172,365		5,172,365
院内託児所運営委託								
令和4年度	75,108			24,000	令和6年度～ 令和7年度	51,108	50,085	1,023
院内検体検査及び 院外検査業務委託								
令和3年度	285,000		121,254	121,254	令和6年度	42,492		42,492
看護被服貸借業務								
令和3年度	60,960		12,423	12,823	令和6年度～ 令和7年度	35,714		35,714
鳥取市立病院E S C O事業								
令和元年度	512,750	令和2年度～ 令和4年度	141,148	51,276	令和6年度～ 令和12年度	320,326		320,326
月刊誌一括購入								
令和5年度	6,000				令和6年度	6,000	3,000	3,000
令和4年度	6,000			6,000	令和5年度			
P F Sを活用した施設維持 管理に係る仕様見直しコン サルティング								
令和4年度	6,270			6,270	令和5年度			
昇降機改修工事								
令和5年度	154,440			99,440	令和6年度	55,000		55,000

令和4年度鳥取市病院事業会計予定損益計算書（前年度分）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位 千円）

1 医 業 収 益			
(1) 入 院 収 益	4,634,517		
(2) 外 来 収 益	1,731,174		
(3) そ の 他 医 業 収 益	<u>606,438</u>	6,972,129	
2 医 業 費 用			
(1) 給 与 費	4,500,610		
(2) 材 料 費	1,790,102		
(3) 経 費	1,292,171		
(4) 減 価 償 却 費	520,943		
(5) 資 産 減 耗 費	5,600		
(6) 研 究 研 修 費	<u>123,081</u>	<u>8,232,507</u>	
医 業 利 益			△ 1,260,378
3 医 業 外 収 益			
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	1		
(2) 他 会 計 繰 入 金	550,655		
(3) 補 助 金	919,354		
(4) 保 険 金	3,656		
(5) 患 者 外 給 食 収 益	10		
(6) 長 期 前 受 金 戻 入	139,163		
(7) そ の 他 医 業 外 収 益	<u>56,266</u>	1,669,105	
4 医 業 外 費 用			
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	67,983		
(2) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	25,000		
(3) 雑 損 失	23,141		
(4) 患 者 外 給 食 材 料 費	572		
(5) 医 師 確 保 経 費	<u>7,782</u>	<u>124,478</u>	1,544,627
5 附 帯 事 業 収 益	<u>36,797</u>	36,797	
6 附 帯 事 業 費 用	<u>37,175</u>	<u>37,175</u>	<u>△ 378</u>
経 常 利 益			283,871
7 特 別 利 益			
(1) 特 別 利 益	<u>28,677</u>	28,677	
8 特 別 損 失			
(1) 特 別 損 失	<u>500</u>	<u>500</u>	28,177
9 予 備 費	<u>1,500</u>	<u>1,500</u>	<u>△ 1,500</u>
当年度純利益			310,548
前年度繰越欠損金			9,648,329
その他未処分利益剰余金変動額			<u>0</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>9,337,781</u></u>

令和4年度鳥取市病院事業会計予定貸借対照表（前年度分）

（令和5年3月31日現在）

（単位 千円）

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
	(1)有形固定資産			
	イ土地		1,696,515	
	ロ立木		38,431	
	ハ建物	13,122,254		
	減価償却累計額	<u>9,101,222</u>	4,021,032	
	ニ器械及び備品	4,577,403		
	減価償却累計額	<u>3,297,041</u>	1,280,362	
	ホ車両	2,172		
	減価償却累計額	<u>2,003</u>	169	
	ヘ構築物	315,998		
	減価償却累計額	<u>195,067</u>	120,931	
	ト機械及び装置	290,115		
	減価償却累計額	<u>260,336</u>	29,779	
	チリース資産	44,854		
	減価償却累計額	<u>15,081</u>	29,773	
	有形固定資産合計			7,216,992
	(2)無形固定資産			
	イ電話加入権		3,577	
	ロソフトウェア		<u>520</u>	
	無形固定資産合計			4,097
	(3)投 資			
	イ医師奨学金		99,510	
	ロその他投資		<u>9</u>	
	投資合計		<u>99,519</u>	
	固定資産合計			7,320,608
2	流 動 資 産			
	(1)現金預金		2,207,556	
	(2)未 収 金		1,188,652	
	貸倒引当金		<u>△ 6,258</u>	1,182,394
	(3)貯 蔵 品		78,820	
	(4)その他流動資産		7,212	
	(5)短期貸付金		<u>400,000</u>	
	流動資産合計			<u>3,875,982</u>
	資 産 合 計			<u><u>11,196,590</u></u>

負債の部

3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てる た め の 企 業 債		<u>1,045,244</u>		
企業債合計			1,045,244	
(2) リース債務			19,457	
(3) 引当金				
イ 退職給付引当金		<u>2,462,606</u>		
引当金合計			<u>2,462,606</u>	
固定負債合計				3,527,307
4 流動負債				
(1) 一時借入金			0	
(2) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てる た め の 企 業 債		<u>1,030,543</u>		
企業債合計			1,030,543	
(3) リース債務			9,537	
(4) 未払金			161,668	
(5) 未払消費税			6,250	
(6) 未払費用			118,430	
(7) 預り金			36,567	
(8) 引当金				
イ 賞与引当金		<u>294,493</u>		
引当金合計			294,493	
(9) その他流動負債			<u>1,000</u>	
流動負債合計				1,658,488
5 繰延収益				
(1) 長期前受金				
イ 受贈財産評価額	1,219			
収益化累計額	<u>1,158</u>	61		
ロ 寄附金	13,000			
収益化累計額	<u>12,139</u>	861		
ハ 補助金	988,939			
収益化累計額	<u>584,309</u>	404,630		
ニ 他会計負担金	1,039,313			
収益化累計額	<u>954,644</u>	<u>84,669</u>		
長期前受金合計			<u>490,221</u>	
繰延収益合計				<u>490,221</u>
負債合計				5,676,016

資 本 の 部

6 資 本 金			
(1) 自 己 資 本 金			
イ 自 己 資 本 金		40,649	
ロ 繰 入 資 本 金		<u>14,817,706</u>	
自 己 資 本 金 合 計			<u>14,858,355</u>
資 本 金 合 計			14,858,355
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			0
(2) 欠 損 金			
イ 積 立 金		0	
ロ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金			
繰 越 欠 損 金 年 度 末 残 高	9,648,329		
当 年 度 純 利 益	<u>310,548</u>	<u>△ 9,337,781</u>	
利 益 剰 余 金 合 計			<u>△ 9,337,781</u>
剰 余 金 合 計			<u>△ 9,337,781</u>
資 本 合 計			<u>5,520,574</u>
負 債 資 本 合 計			<u><u>11,196,590</u></u>

注 記（前年度分）

1 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

(イ)有形固定資産 定額法

主な耐用年数

建物 6～50年

器械及び備品 3～15年

車両 2～4年

構築物 10～45年

機械及び装置 9～17年

(ロ)無形固定資産 定額法

(ハ)リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

(イ)退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、令和4年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している（一般会計が負担すると見込まれる金額を除く。）。

(ロ)賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出に備えるため、令和4年度末における支給見込額に基づき、令和4年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(ハ)貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(4) その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、令和4年度の費用として処理している。

2 予定貸借対照表等について

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（令和4年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、1,217,136千円である。

(2) 引当金の取崩し

(イ) 退職給付引当金

令和4年度において、退職手当を支給するため、退職給付引当金146,065千円を使用する。

(ロ) 賞与引当金

令和4年度において、期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出をするため、賞与引当金271,571千円を使用する。

(ハ) 貸倒引当金

令和4年度において、債権の不納欠損による損失に充てるため、貸倒引当金8,732千円を使用する。

令和5年度鳥取市病院事業会計予定貸借対照表（当年度分）

（令和6年3月31日現在）

（単位 千円）

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
	(1) 有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		1,696,515	
	ロ 立 木		38,431	
	ハ 建 物	13,212,654		
	減価償却累計額	<u>9,327,284</u>	3,885,370	
	ニ 器 械 及 び 備 品	4,939,791		
	減価償却累計額	<u>3,371,421</u>	1,568,370	
	ホ 車 両	2,172		
	減価償却累計額	<u>2,063</u>	109	
	ヘ 構 築 物	315,999		
	減価償却累計額	<u>201,794</u>	114,205	
	ト 機 械 及 び 装 置	290,115		
	減価償却累計額	<u>261,538</u>	28,577	
	チ リ ー ス 資 産	54,854		
	減価償却累計額	<u>16,778</u>	38,076	
	有形固定資産合計			7,369,653
	(2) 無 形 固 定 資 産			
	イ 電 話 加 入 権		3,577	
	ロ ソ フ ト ウ ェ ア		<u>260</u>	
	無形固定資産合計			3,837
	(3) 投 資			
	イ 医 師 奨 学 金		112,654	
	ロ そ の 他 投 資		<u>9</u>	
	投資合計			<u>112,663</u>
	固定資産合計			7,486,153
2	流 動 資 産			
	(1) 現 金 預 金		1,731,562	
	(2) 未 収 金	1,365,698		
	貸倒引当金	<u>△ 3,528</u>	1,362,170	
	(3) 貯 蔵 品		77,220	
	(4) そ の 他 流 動 資 産		7,212	
	(5) 短 期 貸 付 金		<u>400,000</u>	
	流動資産合計			<u>3,578,164</u>
	資 産 合 計			<u><u>11,064,317</u></u>

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>866,827</u>	
企業債合計			866,827
(2) リース債務			19,626
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金		<u>2,599,999</u>	
引当金合計			<u>2,599,999</u>
固定負債合計			3,486,452
4 流動負債			
(1) 一時借入金			0
(2) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>917,115</u>	
企業債合計			917,115
(3) リース債務			10,959
(4) 未払金			165,628
(5) 未払消費税			6,250
(6) 未払費用			126,211
(7) 預り金			36,567
(8) 引当金			
イ 賞与引当金		<u>320,403</u>	
引当金合計			320,403
(9) その他流動負債			<u>1,000</u>
流動負債合計			1,584,133
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
イ 受贈財産評価額	1,219		
収益化累計額	<u>1,158</u>	61	
ロ 寄附金	13,000		
収益化累計額	<u>12,139</u>	861	
ハ 補助金	990,240		
収益化累計額	<u>651,608</u>	338,632	
ニ 他会計負担金	1,204,643		
収益化累計額	<u>1,087,809</u>	<u>116,834</u>	
長期前受金合計			<u>456,388</u>
繰延収益合計			<u>456,388</u>
負債合計			<u>5,526,973</u>

資 本 の 部

6	資 本 金			
(1)	自 己 資 本 金			
	イ 自 己 資 本 金		40,649	
	ロ 繰 入 資 本 金		<u>15,306,213</u>	
	自己資本金合計			<u>15,346,862</u>
	資本金合計			15,346,862
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			0
(2)	欠 損 金			
	イ 積 立 金		0	
	ロ 当年度未処理欠損金			
	繰越欠損金年度末残高	9,337,781		
	当 年 度 純 利 益	<u>471,737</u>	<u>△ 9,809,518</u>	
	利益剰余金合計			<u>△ 9,809,518</u>
	剰 余 金 合 計			<u>△ 9,809,518</u>
	資 本 合 計			<u>5,537,344</u>
	負 債 資 本 合 計			<u><u>11,064,317</u></u>

注 記（当年度分）

1 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

(イ)有形固定資産 定額法

主な耐用年数

建物 6～50年

器械及び備品 3～15年

車両 2～4年

構築物 10～45年

機械及び装置 9～17年

(ロ)無形固定資産 定額法

(ハ)リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

(イ)退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している（一般会計が負担すると見込まれる金額を除く。）。

(ロ)賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(ハ)貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(4) その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。

2 予定キャッシュ・フロー計算書等について

(1) 重要な非資金取引

当事業年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ10,000千円である。

3 予定貸借対照表等について

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、986,401千円である。

(2) 引当金の取崩し

(イ) 退職給付引当金

当事業年度において、退職手当を支給するため、退職給付引当金90,490千円を使用する。

(ロ) 賞与引当金

当事業年度において、期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出をするため、賞与引当金294,493千円を使用する。

(ハ) 貸倒引当金

当事業年度において、債権の不納欠損による損失に充てるため、貸倒引当金6,258千円を使用する。